

せいわにし 学校だより

令和7年5月12日(月)
伊賀市立成和西小学校 No. 4
伊賀市大内624番地
<http://www.iga.ed.jp/seiwanishi-e/>

～家庭学習強化週間に、ご協力をお願いします!～

1学期がスタートしてから1か月が過ぎました。これからは学校での授業や活動に、さらに集中して取り組める時期を迎えます。日々の学習や活動を元気にがんばってみたいと思います。

さて、一昨年度から始めました家庭学習や読書を習慣化し、充実していくための「家庭学習強化週間」に今年度も取り組みます。期間は、本日5月12日(月)から5月23日(金)までの2週間です。

このお知らせをご一読いただき、ご家庭でも、お子さんの家庭学習の確立と読書週間の充実のために、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

家庭学習強化週間で取り組むこと



1 開始時刻を決め、「10分×学年」以上の勉強時間を目標にしましょう!

家庭学習を集中して毎日続けていくためには、生活の一部として決めた時刻に家庭学習を始め、習慣化することが大事です。「10分×学年」以上の時間を目標として、計画を立てて学習するよう学校でも指導していきます。また、テレビを見ながらなどの「ながら勉強」をするのではなく、集中して学習することで能率も上がります。集中して学習することが定着してくると、学校での学習にも、さらに集中できるようになります。家庭学習の雰囲気づくりにも、ご協力をお願いいたします。



2 毎日、読書をしましょう!

伊賀市では、学校や家庭での読書推進活動として、小学校低学年までは保護者の方と一緒に本を読むきっかけをつくってもらう「この本いっしょに読もう!」運動を、中学年から中学校にかけては、自らの本の世界を楽しむことをすすめる「この本おもしろいよ!」運動を進めています。

学校では、朝学習や国語の時間を利用して、担任による絵本や本の読み聞かせと読書活動に取り組んでいます。朝の読書の時間になると、シーンと物音一つ立てずに本を読んでいます。また、自分が読んだ本のページ数を記録していく「読書貯金」の取組も子どもたちの励みとなっています。そして、今年度は、全教員が教室をまわって読み聞かせする「先生の読み聞かせ」も行います。(※裏面写真:1回目の様子)



ほん よ
本を読むと、どんな力がつくの？

い が しきょういくいんかい はつこう
伊賀市教育委員会発行リーフレット

す ほん で あたら せかい で
「好きな本に出あう 新しい世界に出あう」より

こと ば まな ちから
言葉を学ぶ力

そうぞうりよく かんせい
**想像力、感性を
磨く力**



しこうりよく
思考力

ひょうげんりよく
表現力

そうぞうりよく
創造力を

たか ちから
高める力

こ どもたちの読書の意欲を高めるには、低学年では絵本の読み聞かせをしてもらうこともいいですし、
「読ませたいな」と思う本を選んで、お子さんに読ませてもらうこともいいと思います。

こうがくねん じぶん きょうみ ほん ほん えら ものがたり しょうせつ でんき
高学年では、自分で興味のある本やおもしろそうな本を選ぶことはもちろん、物語や小説、伝記など、
こ どもたちの思考を深め、将来への展望を広げるような文学作品にも出あわせたいです。

どくしょ いま し ことば つか かた し ごい ふ じぶん そうぞうりよく
読書することで今まで知らなかった言葉や、その使い方を知り、語彙が増えます。また、自分の想像力
かんせい みが しこうりよく ひょうげんりよく たか
や感性を磨くとともに、思考力や表現力を高めることができます。そして、子どものときにたくさんの本に
であ けいけん こ こころ のこ じんせい ゆた かていがくしゅう なか
出会った経験は、子どもたちの心にいつまでも残り、人生を豊かなものにします。家庭学習の中に、ぜひ、
どくしょ じかん と い しゅうかんか
読書の時間を取り入れ、習慣化したいものです。

いじょう
以上のことから、この「家庭学習強化週間」を通して、「家庭学習」と「読書」の習慣化を進めていき
かんが こ おうえん ふんいき つと
たいと考えます。おうちでも、お子さんを応援しているという雰囲気づくりに努め、がんばったときは、
こ き いよく そだ しえん きょうりよく ねが
ほめていただくなど、お子さんのやる気と意欲を育てるよう、ご支援ご協力をお願いいたします。
ほんじつ こ まいにち かていがくしゅう も かえ きにゅう
なお、本日から、お子さんが毎日「家庭学習チェックカード」を持ち帰りますので、きちんと記入して
かくにん うえ かた ねが
いるか確認の上、おうちの方のサインをお願いいたします。

